

食品産業におけるCO<sub>2</sub>排出削減促進に対する支援  
＜未来を切り拓く6次産業創出総合対策のうち資源・環境対策＞

【15百万円】

対策のポイント

CO<sub>2</sub>排出削減の取組が遅れている食品事業者・業種に対して、温暖化対策の重要性について普及啓発を行うとともに、業種特性に応じた具体的取組を促進します。

＜背景／課題＞

- ・環境自主行動計画を策定し、これに参加して温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる事業者は食品産業全体から見れば少なく、多くの中小零細の食品事業者は、自らのCO<sub>2</sub>排出量も把握していないなど排出削減への取組が遅れている。

政策目標

京都議定書における我が国の温室効果ガスの削減約束（基準年比6%削減）達成に寄与

＜内容＞

1. 排出削減のための具体的方策の検討

食品産業の中小事業者を対象とした温室効果ガスの排出削減に係る研修会の開催、取組が遅れている業種を対象とした削減指針作成と具体的な取組を促すための研修会の開催を支援します。

（ 補助率：定額  
事業実施主体：民間企業等 ）

2. 事業者による優良取組事例のPR

食品関連事業者が取り組むCO<sub>2</sub>削減事例を収集し、優良事例に対する農林水産大臣表彰等の実施や優良事例集を作成・配布するなどのCO<sub>2</sub>削減の積極的なPR活動を支援します。

（ 補助率：定額  
事業実施主体：民間企業等 ）

[お問い合わせ先：総合食料局食品産業企画課（03-6744-2067（直））]

# 食品産業におけるCO2排出削減促進に対する支援

＜未来を切り拓く6次産業創出総合対策のうち資源・環境対策＞

【15百万円】

## 現状と課題

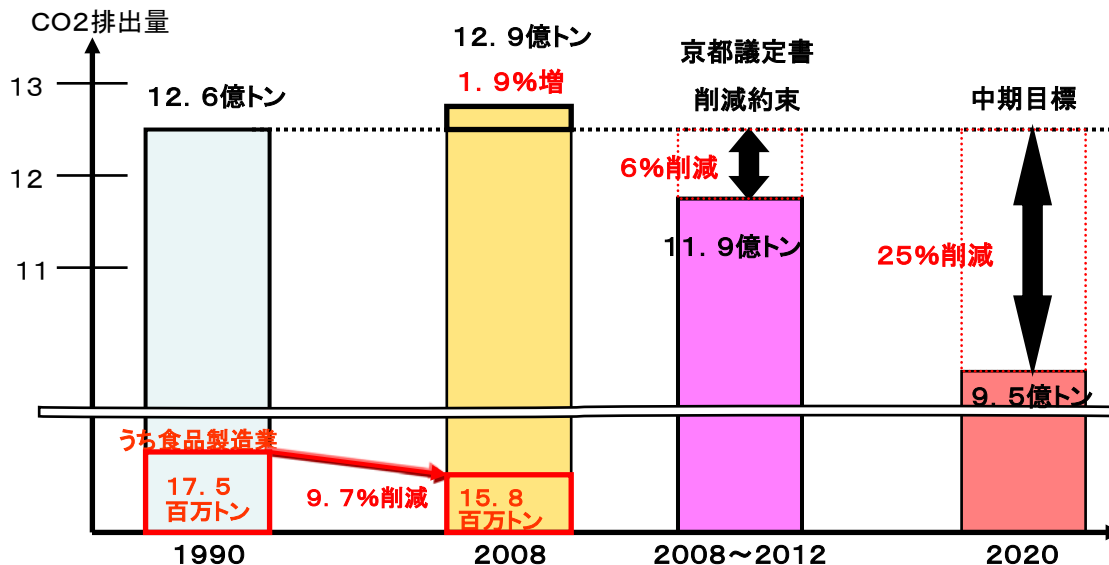
### 現状

○CO2の全排出量が基準年と比較して1.9%増加する中、食品製造業は、9.7%削減と貢献。

### 課題

しかしながら、

- 環境問題への取組意識の低い企業や具体的な取組方法が分からない中小企業が多く存在。
- CO2排出量削減への取組は、企業の利益に直結しないため、独自の取組がなかなか広がらない。



資料:実績値は、(独)国立環境研究所温室効果ガスインベントリ(2008年度速報値)より。

CO2削減のための具体的方策を検討し、研修会で事業者が取組を促すための費用やCO2削減の優良取組事例のPR活動を支援します。(定額補助)

## 1. 具体的方策の検討と研修会開催

支援内容

- 検討会の開催
- 業種別削減指針の作成
- 取組促進のための研修会開催



## 2. 優良取組事例のPR

支援内容

- 優良事例の表彰及び事例発表会の開催
- 優良事例集の作成・普及

